



## CSR活動報告2018

Corporate Social Responsibility Report 2018

# 創造と革新

## Creation & Innovation

### トップメッセージ

**社会とのコミュニケーションを大切にし、  
技術商社としての事業活動を通して、  
持続可能な社会の実現に貢献してまいります。**

当社は、「創造と革新」を経営理念として掲げ、企業価値の向上を図るとともにコーポレート・ガバナンスを基盤としコンプライアンスを遵守することで、社会や環境と共生・共存できる企業として、健全かつ持続的な成長を遂げていくことを通して社会的責任を果たしてまいります。

創立以来培ってきた独自の技術力と高度な開発力、幅広い情報力、豊富な人材力でますます多様化・複雑化する社会のニーズや課題をいち早く把握し、人々に必要とされる製品・サービス等をワンストップでソリューション提供することで社会への貢献に努めてまいります。

こうした考えに基づき、2018年度に「CSR基本方針」及び「CSR活動指針」を定め、さらなるCSR活動の充実を図るべく取り組み、株主・取引先・地域社会・従業員など多様なステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを通じて、持続可能な社会の実現に貢献する企業を目指してまいります。

2018年11月12日



株式会社ルネサスイーストン  
取締役社長

石井 仁

### 社会貢献活動の取り組み

当社では会社の持続的発展を担う次世代人材の育成支援、並びに事業活動の場である地域社会の発展を目的として、社会貢献活動を推進しております。これらの活動を通じて、地域社会に貢献できるという気持ちが、社員一人一人の人間成長を促し、社会貢献活動を通じて知り合った人々のつながりは、大きな財産になっております。

# CSR活動方針

当社グループは、これまでのCSR活動をもとにさらなる社会の持続的発展と企業価値の向上を目指し、従業員一人一人が一丸となってCSR活動に取り組むことを目的にCSR活動に関する「CSR基本方針」及び「CSR活動指針」を策定いたしました。当社グループは、これからも企業理念である「創造と革新」のもと、時代の求める先進的な価値を提供し、社会から必要とされ、信頼される企業を目指して参ります。

## CSR基本方針

当社グループは、「創造と革新」を経営理念として掲げ、企業価値の向上を図るとともにコーポレートガバナンスを基盤とし、コンプライアンスに配慮することで、社会や環境と共生・共存できる企業として、健全かつ持続的な成長を遂げていくことを通して社会的責任(CSR)を果たして参ります。当社グループは、CSR活動を通して従業員一人一人が自発的に活動し、チャレンジ精神旺盛な企業風土の醸成を推進して参ります。

## CSR活動指針



# ステークホルダーとのコミュニケーション

当社グループは、お客様、地域社会、株主・投資家、従業員等をはじめとするステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを通じて、社会の持続的発展と企業価値の向上につなげていくためにさまざまな取り組みを行っています。

## 1 マネジメント

### コーポレート・ガバナンス

当社グループは、経営の健全性・透明性・効率性の向上をはかりコンプライアンス経営の強化に向けてコーポレート・ガバナンスの充実を最重要視し、また、経営環境の変化にスピーディに対応できる組織体制の構築と、その必要な施策を講じることによって企業価値の向上を目指して取り組んでまいります。

コーポレートガバナンス報告書 ▶ <http://www.rene-easton.com/company/corporate.html>

### コンプライアンス

当社グループは、経営の拠り所とする「基本理念」及び「経営理念」を制定し、その精神を当社グループの役員・従業員に伝え、法令遵守をあらゆる企業活動の前提とすることを徹底します。コンプライアンス、委員会を定期的開催し、法令や社会規範の遵守を行い全ての従業員に対しても研修会などを通じコンプライアンスの重要性を説明しております。さらに情報管理、内部通報制度、インサイダー取引防止、反社会的取引防止等の啓発を実施しております。また、社長直轄の監査部を設置し、内部監査体制の確保と維持・向上をはかり、内部監査を実施することにより、コンプライアンス体制の整備をはかっております。

## 2 顧客とともに

### 顧客満足度向上

最先端製品を軸にシステムソリューション提案を強化し事業拡大を図るという考えを基本に、当社グループの重点分野である自動車分野・産業分野への深耕を強化するとともに、お客様の商品開発・企画段階からシステム提案することで相互信頼の構築をはかり、製品・サービスの品質・安全性向上に努め、お客様満足度の向上に取り組んでまいります。

## 3 社会とともに

### 社会貢献活動

当社グループは、社会との共生を目指して、事業活動を通じた社会貢献をはじめ、寄付や地域貢献、ボランティア活動などさまざまな社会貢献活動を推進してまいります。また地域社会の一員として地域としてのふれあいを大切にしより良い関係を構築するために、地域清掃活動や地域団体への支援などに取り組んでいます。

## 4 株主・投資家とともに

### タイムリーな情報開示

当社グループは、積極的なIR活動を推進し、株主・投資家、お客様、地域社会を始めとするあらゆるステークホルダーの皆様に対し、公平かつタイムリーな情報開示を行い、当社の事業内容や経営戦略、経営目標等に対するより一層のご理解をいただけるよう努めてまいります。

## 5 従業員とともに

### ワークライフバランス

社員一人ひとりが健康で充実した元気に働ける職場環境の実現を目指し、有給休暇取得の推奨、時間外労働の削減、育児・介護休暇制度などを設けてワークライフバランスの実現に取り組んでおります。

### ダイバーシティへ

当社グループは、多様な人材活用をすることで働きがいのある職場と業績向上を目指しております。国籍・性別を問わず、人物第一の求人活動を実施しており、入社後も教育制度の充実と人柄・勤務実績・業務成果等に基づいて人事考課を行い個人の個性を尊重すべく取り組んでおります。

## 6 環境とともに

### 環境保全活動

当社グループは、お客様のご要求に合わせて、環境に配慮した製品の販売及びシステムソリューション提供を主とした技術商社としての事業活動を通して、人々の健康と自然の営みを大切に、地球環境の向上に積極的に取り組み、持続可能な社会の持続的発展に貢献します。

# 社会貢献活動の取り組み

## 千代田区サッカー協会への協賛

「千代田区サッカー協会」は千代田区におけるサッカー競技の普及と発展を図るとともに子どもから高齢者まで男女共にスポーツを楽しむことができる健康で明るい地域社会に貢献することを目的として設立されました。この趣旨に当社も賛同し、2015年4月より同協会を通じ本社の所在地であります千代田区のサッカーの大好きな小中学生のジュニア層を中心に支援を行っております。



## 日本ボート協会(パラローイング本部)支援

2008年より日本パラローイング本部の支援を行っております。日本パラローイング本部はわが国唯一の障がい者のためのボート競技団体で、パラリンピックを頂点とした大会出場を目指し活動しております。「2020年東京オリンピック・パラリンピック」が決定した今、メダル獲得を目指し、さらなる活動を進めて参ります。

※日本パラローイング協会は、2018年に日本ボート協会と統合し、日本ボート協会パラローイング本部として活動しております。



## 被災地支援の取り組み

当社は、地震や豪雨災害等の被災地に対し、これまで復興支援を目的に義援金の寄付やさまざまな支援活動を行っており、今後も被災地の状況をふまえながら継続的に支援活動に取り組んでまいります。

また2012年度から東日本大震災被災地の子どもたちへの支援として寄付金付きQUOカードを株主優待として発行し、子どもたちを笑顔にするための活動に役立てていただく取り組みを継続しております。

## 環境保全活動、CSR活動等の実施

支援活動	環境保全活動
2008年 4月 日本パラローイング協会(現:日本ボート協会 パラローイング本部)への協賛。(継続実施中)	2004年 9月 ISO14001の認証を取得し環境への取組みを積極的に行っております。
2011年 3月 東北地方太平洋沖地震の被害に対する義援金実施。 〈会社:500万円、役員・社員有志:185万円〉	2009年 3月 ISO9001の認証を取得し品質の向上を図っております。
2013年11月 フィリピンにおける台風被害に対する救済金実施。 〈会社:100万円、役員・従業員有志:40万6千6百円〉	2012年 6月 本社及び各営業拠点周辺の地域清掃活動を開始。 〈2回/年:年継続実施中〉
2015年 3月 千代田区サッカー協会への支援。(継続実施中)	2015年 4月 社員による森林整備・植樹活動を開始(1回/年:継続実施中)
2015年 6月 ネパール地震被害に対する救済金実施。 〈会社:100万円、役員・従業員有志:43万9千5百円〉	2017年10月 公益信託経団連自然保護基金へ寄付実施。
2016年 6月 震災備蓄品をセカンドハーベストジャパンに寄贈。 〈食品864食、水1.5トン〉	2018年 7月 群馬県への「企業版ふるさと納税」支援実施。
2016年 6月 熊本地震被害に対する支援金実施 〈会社:300万円、役員・従業員有志:76万1千5百円〉	2018年10月 公益信託経団連自然保護基金へ寄付実施。
2017年 3月 福島県復興応援イベントへ 「第2回がんばっぺ福島!応援の集い」協賛。	<b>ボランティア活動</b>
2017年 7月 平成29年7月九州北部豪雨に対する義援金実施。 〈会社:200万円、役員・従業員有志:73万8千円〉	2014年から役員・従業員有志にてブックオフボランティア宅本便に参画。同社を通じシャンティ国際ボランティア会「いわてを走る移動図書館プロジェクト」に寄付を実施。 〈実績:1,605冊〉
2018年 3月 福島県復興応援イベントへ 「第3回がんばっぺ福島!応援の集い」協賛。	<b>義援金付き株主優待クオカード</b>
2018年 7月 平成30年7月豪雨に対する義援金実施。 〈会社:300万円、役員・従業員有志:81万7千円〉	2012年度から東日本大震災被災地の子どもたちへの支援として寄付金付きQUOカードを株主優待として発行。 〈実績:120,265枚/6,023,250円〉

